



館長だより

山形県産業科学館

令和 7 年 6 月 1 7 日 (火)

発行 館長 加藤 智 一

舌下免疫療法（ぜっかめんえきりょうほう）



舌下免疫療法は、個人的に今一番気になっている、スギ花粉症やダニアレルギー性鼻炎に高い効果があると期待されている治療法です。

舌下免疫療法とは「アレルギー免疫療法」のひとつです。アレルギーの原因となるアレルゲンを含む治療薬を投与し、体を徐々にアレルゲンに慣らすことによって症状を和らげる治療法です。一度お医者さんの診察を受けて、一日一錠、治療薬を舌の下で溶けるのを待って（1分位）飲み込むというただそれだけ。寄生虫をお腹に飼うより絶対良いでしょう。現在舌下免疫療法の対象となっているアレルゲンは、スギ花粉とダニのみです。ヒノキなど他のアレルゲンによるアレルギー症状は、今のところ舌下免疫療法の対象ではありません。舌下免疫療法では定期的な受診と毎日の治療薬の服用が必要で、かかる費用は、保険料が3割負担であれば初回の診察で5,000円ほど、それ以降毎月の診察と薬代で2,000円ほどが目安だそうです。また、舌下免疫療法ではすぐに効果が出るわけではないため、花粉症のシーズンに症状が出る場合もあります。舌下免疫療法は基本的には3年を目処として治療が必要です。毎日忘れず治療薬を服用する必要があるため、根気強く続けることが重要です。続けることでより高い効果が期待できるため、1~2年ほどで効果が感じられないからとやめ

るのではなく、長く治療を行うのがおすすめだそうです。アレルギー免疫療法そのものは100年以上前から行われており、以前は皮下免疫療法とよばれる注射による治療が一般的でしたのでスゴイ進歩。

ただデメリットもあります。アレルギー（ダニやスギ花粉そのもの）が配合された薬を服用するため、アレルギーをもつ患者さんへ投与すると、副作用（副反応）としてアレルギー反応が起こってしまいます。口内炎、舌の腫れ、口の中の腫れやかゆみ、不快感、唇の腫れ、のどのかゆみや刺激感、不快感、耳の痒みといった副反応が起こる可能性があります。また、場合によってはアナフィラキシーショックとよばれる急性の過敏反応を引き起こすおそれがあります。蕁麻疹やおう吐などの消化器症状、せきや呼吸困難などの呼吸器症状、意識混濁などです。これらは薬を使用した直後30分や治療を開始後1ヵ月程度、アレルギーが大量に飛散している状況などで引き起こされる可能性があります。しかし一般的に副反応は起こったとしても軽微だと考えられています。

また、以前の治療薬は12歳以上が適応でしたが、2018年に11歳以下でも可能な治療薬が発売となりました。服用しやすい即溶性錠剤で、子どもでも比較的簡単に服用が可能です。とはいえ、幼い子どもの場合には難しいこともあるため、大体5歳以上くらいから治療ができると考えられています。

しかし舌下免疫療法は、どこの医療機関でも受けられるというわけではありません。それは舌下免疫療法の治療薬を処方するために医師は専門の講習を受講しなければならないからです。

舌下免疫療法はスギ花粉症やダニアレルギー性鼻炎の完治が期待できる、唯一の治療法です。治療期間は長くかかり、毎日薬を服用する根気強さが必要ですが、症状が重く、日々の生活にまで大きく影響している方は、試してみる価値はあるのではないのでしょうか。

